

No.	③	分類	3-(2)-ア	資料名	自分を大切に 友だちも大切に	学年	3年	領域	特別活動（学級活動）
-----	---	----	---------	-----	----------------	----	----	----	------------

## 1 ねらい

- 相手の気持ちを考えながら自分の思いを伝えることの大切さに気づき、自分も相手も大切にしたいコミュニケーション力を身につける。

## 2 趣旨

- アサーションとは、自分も相手も大切にしていこうとするコミュニケーションであり、豊かな人間関係を構築するうえで大切な資質・技能である。
- 資料は、基礎編（「3つの伝え方」と、演習編（お願いする・謝る・注意する）から構成している。基礎編をロールプレイで体験することにより、受身的、攻撃的、非攻撃的な表現があることを知り、それぞれの伝え方によって相手の受け止め方が違うことに気づかせる。さらに、演習編によっていろいろな場面における伝え方を考えさせたい。

## 3 配慮事項

- 演習編は、本時の学習後、朝の時間や学級活動等を活用して、短い時間での実施も可能である。

## 4 展開例

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
1 2人組になり、「3つの伝え方」をロールプレイで体験する。	・ロールプレイを通して、頼む人と断る人の両方の気持ちを考え、自分も相手も気持ちのよい伝え方に気づかせる。
2 ロールプレイの感想を話し合う。 ○断る人 なみさん…伝えたいことがわからない。 あきおさん…相手のことを考えていない。 さやかさん…相手も気持ちがよいと思う。 ○頼む人 さやかさんの伝え方がいいな。	・気持ちのよい伝え方のなかに含まれている相手のことを考えて発した言葉に着目し、相手を大切にしながら自分の意見を言う伝え方が大切であることをおさえる。
3 演習編を活用し、自分も相手も気持ちがよい伝え方を考える。 ・お願いする ・謝る ・注意する	・様々な場面を想定し、自分も相手も大切にしたい伝え方について話し合い、一番気持ちのよい伝え方を考えさせる。
4 日常生活の中で、身近な人とのコミュニケーションを振り返る。	・日常生活で同じような場面がないかを振り返り、よりよい伝え方を考えさせ、自他を大切にしたいコミュニケーション力を身につけさせる。

## 5 参考

- 演習編のねらい
  - ・ 事例①（お願い編）  
ブランコ遊びを楽しんでいる友だちの気持ちを想像し、待っている私たちの気持ちの伝え方を考えさせる。
  - ・ 事例②（謝る編）  
たかしさんがどう謝り、なおきさんがどう応えるか、両者の立場から考えさせる。
  - ・ 事例③（注意編）  
ルールやきまりを守っていないよしおさんに対するの発言は、厳しい口調になりがちである。そのため、事例①、②で気持ちのよい伝え方を学習した後に考えさせる。

○ アサーションについて

アサーションとは、相手のことも配慮しながら、自分の欲求や考え、気持ちなどを、率直に、正直に、その場の状況に合った適切な方法で表現することであり、互いの人権を尊重するコミュニケーションです。

自己表現の形態を次の3つに分けて考えることが多いとされています。

- ① 非主張的（ノン・アサーティブ）な自己表現  
常に相手を優先し、自分のことは後回しにする表現
- ② 攻撃的（アグレッシブ）な自己表現  
自分中心に考え、相手を無視して自分を押し通す表現
- ③ アサーティブな自己表現  
自分のことをまず考えるが、相手のことも配慮する表現

◇その他の事例カード◇

演習編①～③以外に、

【断る場面】

【主張する場面】

【謝る場面】

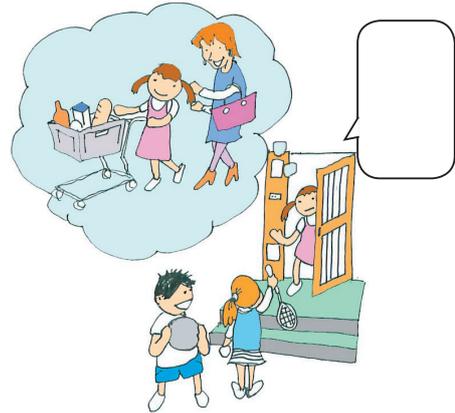
【注意する場面】

の事例を活用して、朝の時間や学級活動の時間等に学習することができる。

※ なお、ホームページから事例カード（カラー）をダウンロードすることができる。

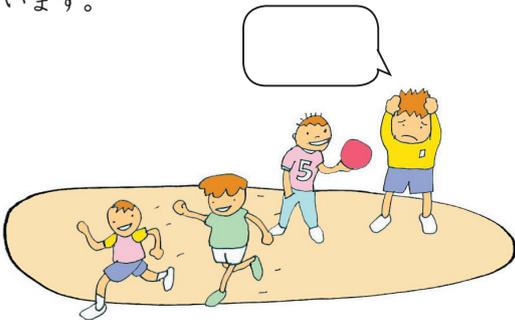
【ことわる場面】

学校から帰った後、「遊ぼう」とさそわれました。でも、今日はお母さんの買い物を手つだうやくそくがあるので、ことわりたいと思っています。



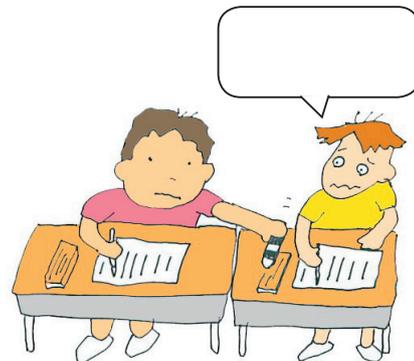
【主ちょうする場面①】

休み時間にドッジボールをしました。休み時間が終わる時、「ボールを元の場所にかたづけといて。」と友だちから言われました。きのうもわたしがかたづけたので、今日はちがう人におねがいたいと思っています。



【主ちょうする場面②】

となりのせきの友だちに、勝手に消しゴムが使われました。わたしは、使う前にひとこと言ってほしいと思っています。



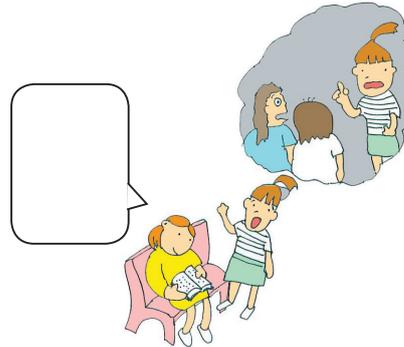
【あやまる場面①】

友だちにかりていた本のページをやぶってしまいました。次の日にどう言って友だちに返そうか考えています。



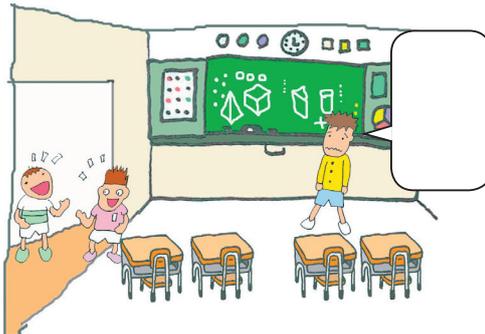
【あやまる場面②】

読書にお中で、ゆりこさんに話しかけられたのに気づかずにいました。すると、ゆりこさんが「むしをされた」と、ほかの子に言っているのを聞いてしまいました。気づかなかったことをゆりこさんにあやまろうと思っています。



【注意する場面①】

休み時間に、当番が黒板の字を消すことになっています。休み時間が終わるころ、当番はまだ黒板の字を消さずにろう下で楽しそうに話しているから、黒板の字を消すように注意しようと思っています。



【注意する場面②】

そうじ時間に、同じそうじ場所の友だちが、ふざけてぞうきを投げて、そうじをさぼっているから、ふざけないように注意しようと思っています。

